

第1回肝属郡医師会立病院再整備基本計画策定委員会 議事録

日 時：令和3年6月24日（木）15時～17時

委 員：石塚委員、大石委員、濱畑委員、福本委員、木場委員、石畑委員、
落司委員、松元委員、濱崎委員、小梅枝委員、鹿間委員、瀬戸山委員、
西田委員、山口委員、山内委員

事務局：（肝属郡医師会立病院）黒瀬事務長、伊比禮看護部長、出口看護副部長、
坂上地域医療室長

（老健みなみかぜ）折久木事務次長、橋口介護支援専門員

（南大隅町）町民保健課 黒木課長、戸島課長補佐

（錦江町）有村副町長、

政策企画課 高崎課長、内木場参事、馬庭係長、福島主事

1 開 会

2 開会のあいさつ

3 委嘱状の交付

4 委員紹介

5 委員会の設置目的等について

令和3年3月に作成した肝属郡医師会立病院施設再整備に向けた基本構想を踏まえ、肝属郡医師会立病院再整備基本計画を策定することを目的に、本委員会を設置した。

6 委員長の選出及び副委員長の指名

委員の互選として、委員長に石塚委員が選任された。

また、委員長が、大石委員を副委員長に指名した。

7 会議の公開の取扱い

原則公開とするが、会議の公正または円滑な運営に著しい支障が生ずると認められる場合等においては、委員会が会議の一部または全部を公開しない旨を決定できることとする。

また、会議の議事録については、発言委員の名前は掲載しない形で、ホームページ等で掲載することとする。

8 協議

（1）これまでの経緯及び基本構想の概要について

（事務局説明要旨）

- ・ これまでの経緯及び昨年度作成した基本構想について説明。
- ・ 基本構想の内容については、施設規模や病院運営等で不安となる要素が

あるため、今後の基本計画の策定作業において、新病院が担うべき機能等、より詳細な検討を行い、それを踏まえた適切な規模について精査するとともに、事業収支とのバランスも見ながら、機能面と経営面の両立ができるコンパクトで効率的な施設にし、長期にわたって安定した運営が可能となるようにしたい。

(委員からの主な意見)

- 肝属郡医師会が要望したのは、公設民営方式による病院の建替である。現在の医師会の会員数を考えると、今後、医師会自体の存続も危ぶまれる。もし、医師会自体がどこかに吸収合併される事態となった場合に、だれが病院を引き受けたのかという話になる。そのようなことも含め、この委員会でどのような事を決めるのか、それを医師会として、どう受け止めて、どう合意を得るかというのは、医師会としてもまだ決まっていない。垂水地区の医師会員にとっては、切実な問題ではない。医師会の総意で病院を作ってくれと言っているわけではない。南隅地域の医師会員と現在の病院職員が、病院は必要だから、両町に支援のお願いをしたということである。医師会として、積極的に取り組んでいくということは、まだ決まっていない。
- 病院の運営に関しても、今後の委員会で議論し決める必要がある。
- 建替費用を助成しても赤字になる。そうならない採算ラインの検討を。
- 現病院の剰余金などを、建替えに充当することや、医師会が建設資金の借り入れをしないようにしてほしい。
- 今後の医師会自体の弱体化も見込んだ計画にしてほしい。
- これは非常に難しい問題であり、基本的な地域医療は守らなければならない。一方で、人口減少で病院経営は難しくなっていく。持続可能な経営のためにも収支は均衡しておく必要があり、それらを総合的に考えて計画を作る必要がある。
- 建設費の財源がなければ成り立たない。基本的には国や県に頼ることとなると思うが、そこはどうなるのか。
⇒ (事務局) 財源は重要であり、詳細な事業費の積算等と同時並行で、活用可能な補助金等、財源の研究も進めることとしたい。
- 公共施設を作る場合、予算規模も重要だが、一方では、将来的に必要な機能を考えることも重要であり、両方をフィードバック・調整しながら検討する必要がある。
- 公の支援は必要と考えるが、要求額には根拠が必要であり、そこを今後議論していく必要がある。

(2) 今後の進め方について

(事務局説明要旨)

- ・ 4回程の議論を経て、委員会としての基本計画案を決定したい。委員会終了後、両町で住民説明会等を開催し、広く住民の方々から意見を徴した上で、南隅地域における医療介護の姿検討委員会においても議論をする。その後、両町議会において論議した上で、年内に基本計画を決定する予定。

開院時期については、施工方式で異なるが、早い場合で令和7年1月、遅い場合で令和7年8月を見込んでいる。

(委員からの主な意見)

- 計画ができた後に、住民説明会を行っても意見の反映ができないので、住民意見を計画に反映できるようなスケジュールにしてほしい。
⇒(事務局) 素案の段階等における住民意見の聴取を検討したい。
- タイトなスケジュールとは思うが、住民意見の聴取等は可能な限り丁寧に進めてほしい。

(3) 目指す病院像について

(事務局説明要旨)

- ・ 基本構想の目指すべき方向性をもとに、①急性期、回復期を軸に、慢性期を含むケアミックス病院、②機能を絞り、整備費用を軽減したコンパクトで効率的な施設、③整備後の人口減少等にも対応できるよう、柔軟な運用が可能な施設、④併設する介護老人保健施設と連携した医療介護融合拠点型の施設を大きな目標として取り組むこととする。

(委員からの主な意見)

- ④の目標で、一体として整備するのは、介護老人保健施設に限定するのか。また、新たに介護老人保健施設を整備するのか。
⇒(事務局) 現在のみなみかぜを想定しているが、介護老人保健施設に限定はせず、地域の介護ニーズ等を踏まえながら、移転の可否も含め施設の種類等についても検討を行いたい。

(4) 基本計画策定等支援業務委託について

(事務局説明要旨)

- ・ 今回の基本計画の策定においても専門業者の支援が必要不可欠なため、業務委託を行う。契約については、早期に事業を進める必要があることから、基本構想時の業者と随意契約を締結したいと考えている。なお、委託料については、2町及び病院の3者で負担することとしている。

(委員からの主な意見)

特になし

(5) 建設候補地の提示依頼について

(事務局説明要旨)

- ・ 建設場所について、錦江町及び南大隅町から建設にふさわしい候補地をそれぞれ最大2カ所選定の上で、当委員会において協議を行い、最適地を決定する。選定期限は、7月26日とする。

候補地選出に当たっては、基本構想で示された、立地条件等を踏まえて選定をしてほしいが、基本構想の想定敷地面積は、駐車場の台数、面積等が、かなり余裕を持った想定のため、面積自体は必須要件とはしないが、可能な限り、広い土地の選出をお願いしたい。

(委員からの主な意見)

- 選定のための評価基準を作してほしい。またその土地の価格についても示してほしい。
- 候補地に民有地等が入っていた場合、7月26日までに用地交渉まで行うのか。
⇒ (事務局) 建設候補地に選定された後で、用地の取得ができないとなると困るので、本日の依頼を踏まえ、地権者等と個別に相談の上、取得の見込みがある土地について候補地としてほしい。

9 その他

(委員からの主な意見)

- 利用できる財源等について整理の上、提示してほしい。
- 今回の事業の責任者は誰になるのか。
- 収支試算について、病床稼働率85%は低いのでは。また病棟の看護体制なども考慮すべきである。
- 地域住民としては、近くに病院が必要だが、定住圏構想、医療資源の集約化を求める国の施策を考えると補助金の確保は厳しいのではないか。
- 病院の規模等については、複数パターン of 試算を提示してほしい。

10 閉会のあいさつ

11 閉会